

## 2021年度後期（第11回）12月実施 キャリアコンサルティング技能検定

# 1級 実技（論述）試験

実施日 ◆ 2021年12月12日（日）

試験時間 ◆ 14:30～16:30（120分）

### ★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（全員解答）と選択問題（分野別事例から一つ選択）です。事例を読み、必須・選択問題のそれぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。選択問題は、解答用紙の「選択する分野」の○欄を塗りつぶしてください。記入漏れがあった場合は採点されません。
2. 解答用紙の受検番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中は、受検票、腕時計（腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの）、筆記具（黒の鉛筆またはシャープペンシル、色ペン、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンの中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は、失格となります。

### 【退出時の注意事項】

1. 試験開始後 30 分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5 分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 2022年3月23日（予定）に、受検者全員に可否通知書を送付いたします。合格者は当協議会のウェブサイトを受検番号を掲載してお知らせします。  
(<https://www.career-kentei.org/result/>)

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目6番8号 泉芝公園ビル5階 TEL03-5402-4688



## ☆☆ 解答に際しての注意事項 ☆☆

1級実技(論述)試験の問題は、**必須問題**と**選択問題**です。

選択問題は、**企業分野**、**需給調整機関分野**、**教育機関分野**の3分野の事例から1つ選び、解答用紙の「**選択する分野**」の○欄を塗りつぶしてください(記入漏れがあった場合は採点されません)。

必須問題、選択問題のそれぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。なお、事例は、事例相談者(キャリアコンサルタント)が相談者に対してキャリアコンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

### 事例1【必須問題】

事例相談者：女性(45歳)

相談者：A(女性：32歳)

### 事例2【選択問題：企業分野】

事例相談者：男性(43歳)

相談者：B(女性：32歳)

### 事例3【選択問題：需給調整機関分野】

事例相談者：男性(42歳)

相談者：C(男性：29歳)

### 事例4【選択問題：教育機関分野】

事例相談者：男性(50歳)

相談者：D(女性：21歳)

この事例に登場する人物、団体は、本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答に際して、裏面および枠外に記述されたものは採点されません。なお解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能です。

### ◇試験問題で使用される用語について

**事例相談者**とは、キャリアコンサルタントのことを指し、自分が実施したキャリアコンサルティング(事例)に関して、面談過程、事例の見立てや対応方針、環境への働きかけ等について相談をする人のことです。

**相談者**とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する相談に来た人のことで、事例に登場する人を指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

## 事例 1：【必須問題（全員解答）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：女性 45 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「必須問題（全員解答）」に記述すること。

相談者：A（女性：32 歳）、国立大学大学院人文社会科学専攻 2 年生（中国からの留学生）  
家族：父（55 歳）会社経営、母（53 歳）専業主婦  
相談月：7 月上旬

### 【来談経緯】

A さんは、大学院 1 年生の秋頃から就職活動の準備をしてきたが、まだどこの企業からも内定をもらっていない。日本の企業に就職したくて留学したそうだが、このまま就職先が決まらないうと留学ビザが切れてしまい滞在できなくなってしまうとのことだった。新卒として就職活動をしてきたが思うように結果が出ず、今後どう進めていけばよいかわからなくなり、相談に来た。

### 【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

A さんは、7 月上旬に初めて来談した。どうしても日本の企業に就職したくて活動しているが、1 社も内定をもらえていないということで、不安な様子であった。

「3 月頃からエントリーシートを提出してきましたが、なかなか次のステップに選考が進みません。たまに面接に進んでも、ほとんどが 1 次で不合格となってしまいます。中途採用枠のほうで採用の可能性が高いのでは、と言われたこともあります。日本では、新卒採用で私ぐらいの年齢で就職することは難しいのでしょうか。」

（確かに、新卒としては難しいかもしれませんね…。）

「大手であれば、どんな企業でもいいんです。」

（どんな企業でもいいと言われても…。留学前は中国で一度就職されているようですね。どんなお仕事をされていたのですか。）

「小学校で先生をしていました。でも、もうその仕事に興味はありません。それよりもビジネスの世界で自分を試してみたい、という気持ちが強くなり日本に留学しました。いずれは起業したいと思っていますが、そのためには大手企業で大きな仕事に携わる経験が必要だと思うんです。」

（そうでしたか…。であるならば、なおさら、まずはどんな職種や業界を志望しているのか整理しないと、私も支援のしようがないのですが…。）

「とにかく、私は日本の企業に就職したいのです。このままでは、日本で働いて、その経験を活かして起業するという目的が達成できなくなってしまいます。それに留学ビザが切れるので、就職が決まらないうと滞在できなくなります。どうしたらいいのでしょうか。」

（ごめんなさい、ビザに関することはよくわからないのですが、あなたの年齢で新卒卒での応募は難しいと思いますよ。なぜそんなに日本での就職にこだわっているのですか。）

「日本で生活してみて、とても住みやすいし、大学院でもとてもいい友達ができ、自分に

はあっていると思いました。いずれは中国と日本を橋渡しするようなグローバルな仕事がしてみたいです。それに私の知人には、日本に留学して日本企業に就職し、35歳頃に起業し成功している人がいますし、父も会社を経営しているので、私もチャレンジしたいのです。」

(うーん、数年企業で働いたら辞めて、起業したいというお考えなのですね。それだと企業側も採用しにくいのかもかもしれませんですね。大学院ではどんなことを勉強してきたのですか。)

「アジア文化を中心に勉強してきました。就活ではマーケティングや企画の仕事を志望していましたが、全く手ごたえがありませんでした。」

(専門とは異なる職種ですね。中国での職歴を活かしたお仕事は考えていないのですか。)

「先ほどもお話しした通り、考えていません。起業が目標なので、マーケティングや企画の仕事の経験は役に立つと思っています。」

(今までは具体的にどんな業界を受けたのでしょうか。)

「大手企業でメーカーに沢山応募しました。でも内定をもらえないし、これからどのように就職活動すればいいのでしょうか。」

(大学に来ている既卒者可の求人でも25歳程度までが多くて、Aさんの年齢では正直難しいと思います。中途採用なら、何とかなるかもしれませんが…。)

「学内の留学生センターにも相談に行ったのですが、やはり同じようなことを言われました。日本の大学は、留学生に対してのサポートが不十分だと感じています。外国人雇用サービスセンターというところも紹介されたのですが、そこに行けば就職出来るのでしょうか。」

(そうかもしれませんね…。)

この後、日本企業のほとんどは新卒採用が中心で、中途採用の場合は仕事の経験や何ができるかを示すことが前提になることを説明。まずは紹介されたセンターに行ってみて、その後また相談に来てくださいと伝え、面談を終了した。日本語検定1級を取得しているとのことだったし、面談でも会話はスムーズだったので意思疎通はできていると思っていたが、今思うと模擬面接をして確認しておけばよかったと後悔している。

### 【所感】

Aさんは、数年で起業する予定とのことだったし、年齢的にも新卒採用で内定をもらうことは難しいと感じた。また大学院での専攻と希望職種の関連が薄く、キャリアに一貫性がないことが気になった。しかし、留学生に対する就職支援の経験がほとんどなかったため、外国人雇用サービスセンターにリファーした。今となっては、面談で意思疎通ができていたのか自信がもてない。外国人留学生の支援について、どのように行えばよかったのか、指導を受けたい。

- 問1 この相談者Aについて、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。(15点)
- 問2 この事例相談者の相談者Aへの対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。(15点)
- 問3 あなたが、この事例相談者の立場なら相談者Aに対してどのように対応するか、あなたの考えを記述せよ。(20点)

## 事例 2：【選択問題（企業分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 43 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「企業分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：B（女性：32 歳）、大学卒業後、システムインテグレーション業界の会社に総合職として入社し、10 年目。データアナリストの専門職に従事。  
家族：夫（30 歳）、長男・長女（3 歳、双子）

### 【来談経緯】

Bさんの会社は、社内の福利厚生制度も充実しており、出産 1 年後には復職した。1 年間は短時間勤務を利用し、現在は通常勤務に戻し、データアナリストの仕事が続いている。仕事ではチームリーダーも担当し、やりがいを感じており、来年にはマネージャー候補の話もある。しかし最近、夫の国内転勤が決まり、このまま続けることができるか悩んでおり、会社の相談室を訪れた。

### 【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Bさんは、高校生の時に、結婚後も子育てをしながら働いている従妹の看護師をみて、自分も一生取り組める職業に就きたいと思っていた。今後 AI が益々進化する中で企業をサポートできる仕事で活躍したいと思い、大学では経営と IT 知識が学べる情報学部を選択し、現在の会社に入社した。

配属部署では、流通業界に対してビッグデータの処理や、消費者行動などの分析を行い課題解決の手段を提案するなど、ビジネスのサービス改善を行っている。現在はチームリーダーであり、5 名の部下育成や関連部署との連携や調整など、雑多な仕事も多いが、とてもやりがいを感じている。子ども達もまだ小さくて大変だが、周囲の理解もあるし、フレックス勤務を使いながら何とか続けることができている。ところが先日、夫の転勤の話があり来月から単身赴任することになった。これからのことを考えると、今まで通りに仕事を続けていくことができるのか不安になっている。

（これからのことに不安を感じているのですね。）

「はい、急な話だったので不安になりました…。実は先日、上司面談があり『来年のマネージャー候補として推薦したい。マネージャー試験に向けてしっかり準備して臨んでほしい』と言われました。真剣に仕事に取り組んできたことが認められたと思うと、嬉しかったです。夫も私の昇進については応援してくれていて、子ども達の生活も考えて私が通勤しやすいところに引っ越ししようかとも話し合っていたのですが、その矢先に夫の転勤の話で…。」

（ご主人もBさんのお仕事については尊重してくれているのですね。）

「はい、夫は私が働くことに理解がありますし、仕事を辞めるのは勿体ないと言っています。夫も管理職になってから忙しくはなりましたが、育児には協力的なので、二人で何とかここまでやってきたという感じです。」

（そうなんですね。お子さん双子だし大変そうですね。）

「ええ、最近は何でも自分でやりたい時期なので、てんてこ舞いです。帰宅は8時頃、子どもの世話をし寝かしつけると10時、それから家事をして私が寝るのは12時過ぎになることもあります。それでも私が仕事で忙しい時は夫が家事を手伝ってくれるし、これから先、夫がいない状態で仕事と育児の両立ができるのか、とても不安です。」

(他に育児に協力してくれる人はいますか。)

「私の父母は遠方なので…。義父母は近所にいますが、二人ともまだ働いていて、義母は歯科医でバリバリ働いているので、『女性も働き続けたほうがいい』といつも言っています。それに今も延長保育はお願いしています。他に協力者…、思いつきません。」

(そうですか。ご主人の転勤先は遠いですか、週末には戻ってこられる感じでしょうか。)

「転勤先は、片道3時間以上は掛かりそうなので、毎週はきついかも…。夫の体も心配です。支店の立ち上げが軌道に乗るまでと言われていたらしく、3年間は赴任先での勤務になるようです。今までも保育園の送り迎えとかは主に私がやってはいますが、実際に転勤となると、仕事を続けられるかもそうですが、子ども達のこととも考えると一緒に転勤先にいった方がいいのか、とも思います。夫は『単身赴任でいくから、僕のことは心配しないで、お母さんにも手伝ってもらうように言っておくから』と言ってはくれますが…。」

(一緒に転勤先にいく方がいいかも、とも考えていらっしゃる。)

「はい、でも今の会社は、私以外にも子育てしながら働いている女性もいます。それに優秀な人が多いので、自分のキャリアを高めるのにはよい環境だと思います。子育ても仕事もしっかりやりたいし、キャリアアップもしたいと思っています。両立させるのは難しいのでしょうか。」

(ご自分のキャリアを考えると辞めたくない、でも両立も難しいと感じているのですね。)

「復帰直後、先輩から『両立するには、手伝ってくれる環境が整っていないと』とか、『仕事もそうだし家事や育児も全部ひとりで抱えない方がいい、完璧にやろうなんて思わない方がいいわよ!』とも言われたことがありました。私は、完璧主義でもないです…。でも今後マネージャー試験を受けることができるのか微妙な心境になっています。」

(仕事と家庭の両立、そしてマネージャー試験のことも悩んでいるのですね。でもご自分のキャリアも諦めたくないのでしたら、3年間はワンオペ育児で頑張るしかないように思いますが…。今一度、ご自分が優先したいと思っていることに順位づけして整理されてはいかがでしょうか。)

「ワンオペしかないですかね…。そうですね、優先したいことをよく考えてみます。」

## 【所感】

仕事に対する思いや、家庭の事情は聞けたと思っている。配偶者の転勤もあり、現実的には仕事と生活の両立の難しさがあると思ったが、キャリアについて強い意思があるため、自分が優先したいことの順位づけを試みては、とアドバイスをした。次回の約束をしたが、キャンセルとなり、数週間後に、代わりに外部のキャリアコンサルタントを紹介してほしいとの要望があった。自分自身の対応に問題があったのかもしれない。また最近仕事との両立に悩む相談も増えてきたことから、指導を受けたい。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

### 事例 3：【選択問題（需給調整機関分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 42 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「需給調整機関分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：C（男性：29 歳）、私立四年制大学情報科学科卒業。現在は携帯ショップの正社員。  
独身、一人暮らし

#### 【来談経緯】

Cさんは、大学卒業後、就職先が決まらなかったため、携帯ショップでアルバイトをした。新機種が発表になると、いち早く機能を理解し操作することもできたため、同じショップに勤務する仲間からも重宝がられた。また店長からも「Cさんは細かな操作などもよく知っていてとても助かっている。ぜひこれからも頑張ってもらいたい」と言われて、昨年、正社員になった。接客も含め、仕事を任されるようになったが、最近、無理難題な苦情も多く、精神的に苦痛になってきた。お客様が思い通りにならないことを自分のせいとされたりすると、ばかばかしくなり、何でこの仕事をやっているのだろうという思いが募ってきた。学生時代、ゲームクリエイターになりたかったことなども思い出し、これからの人生を考えると転職を考えたいほうがいいのかと悩み、相談にきた。

#### 【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Cさんは、当時就職難だったこともあり、なかなか就職が決まらず、親からも早くどこかへ就職するように言われたが、取り敢えず、時給が高い携帯ショップでアルバイトをすることにした。もともとパソコンゲームが好きだったこともあり、新しい機能を覚えることは面白かった。学生時代からコミュニケーションはあまり得意ではなかったが、携帯ショップで操作の説明をすることは得意で、お客様からも感謝されることがあると嬉しかった。クレーム対応や希望機種の定まらないお客様への対応は苦手だったが、先輩のサポートもあり、なんとかやってきた。

（昨年、正社員になられたんですね。努力したことが認められてよかったですね。）

「まあ、努力というか、スマホとかアプリのことは好きだし、使いこなせるから…。でも店長とか同僚から頼ってもらえたことは、ちょっと嬉しかったかな。両親もずっと『正社員で働きなさい』と言っていたし、結果よかったのかもですね。」

（でも、転職したいと思っているんですか。そのように思うようになったきっかけはあるのでしょうか。）

「正社員になってからは、販売時の機種説明とか、操作の問合せ対応とかだけではなくて、接客全般を任されるようになりました。契約書類の作成とかクレームとかも、アルバイトのときは、社員が対応してくれていましたが、自分がやらざるを得なくなりました。まだ自分が対応しているお客様だったら我慢できても、後輩のクレーム対応の相談をされたりもします。無理難題な要求があったり、明らかにお客様の使用上の問題があってもその問題を押し付けられたり、もう理不尽なことばかりでやってられないって思います。」

（そうですか、確かにクレーム対応が好きな人はいませんよね。しかし、Cさんもアルバイト



の時には助けてもらってたわけですし。)

「そうですけど…。(少し沈黙)でも低姿勢で丁寧に説明してもクレームっぽいことを言われることも多くなって、何でって思います。時々これ以上この仕事は続けられないという思いがわくようになったんです。」

(店長や他の社員の方に相談されましたか。)

「店長も忙しそうなので、相談しにくいんです。」

(他に相談できる人はいないのですか。)

「相談ってほどではないですが、大学の時の友人と話していたら、学生時代、ゲームクリエイターになりたかったことを思い出したんです。お客様に無理を言われることもないし、やりたかった仕事で働いていたらいいなと…。これからの人生を考えると、早めに転職するのもいいのかなという思いが強くなりました。今まで就職活動も上手くいかなかったし、今度こそ失敗しないためにもアドバイスをお願いします。」

(なるほど…。これからの人生を考えようとしているのですね。)

「とにかく今は辛くて…。これからはもっと自分らしく、働きたいと思います。」

(わかりました。お話を伺っていると、確かにCさんには接客業は向いていないと思いました。自分らしく働いていきたいのですね。であれば、ゲームクリエイターにこだわらず、何から行動していくかについて、一緒に考えていきましょう。それではまず、次の提案をしたいのですが、いかがでしょうか。)

- ・今までの仕事で身についたこと、強みなど。
- ・自分のやりたい仕事を書き出し、何故それがやりたいのかを考える。
- ・自分がどのように生きていきたいか、何を大切にしていきたいかを考え、まとめる。

「そうですね。できる限りやってみます。ありがとうございました。」

Cさんは少し不安そうな表情ではあったが、はっきりと「やってみます」と言ってくれたので補足説明後、励まして2週間後の来談を約束して、面談を終了した。

### 【所感】

接客を伴う仕事は得意でない、ということからもCさんに向いていないと感じ、ゲームクリエイターはともかくとして、転職の可能性を含め、今後のキャリアを考えてもらうことが必要だと思った。

Cさんの「クレーム対応は辛い」という気持ちを傾聴しながら、自分がどのように働いていきたいのか、自分の得手不得手、強みなどについて、具体的に書き出してくるよう課題を提示して、初回の面談を終了した。2週間後、Cさんは何の連絡もなく面談日に現れなかった。今回の面談で、自分の支援について何が不足していたのか、指導を受けたい。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

## 事例 4：【選択問題（教育機関分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 50 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「教育機関分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：D（女性：21 歳）、私立四年制大学教育学部 4 年生  
家族：父（46 歳）、母（45 歳）、祖父（70 歳）  
相談月：初回面談 昨年 12 月、第 2 回目面談 5 月

### 【来談経緯】

Dさんは、昨年 12 月に初めてキャリアセンターを訪れた。U ターン就職を希望しており、帰省を利用して年明けから就職活動をしたいので、U ターン就職の進め方について教えてほしいとのことだった。しかし、専攻している保育関連の仕事ではなく、地元の一般企業に就職したいとのことだったので、大学にはDさんの地元企業の募集が少ないことから、まずは自分でネットの就職サイトなどから、地元の情報収集をするように伝えた。その後、今年の 5 月に再来し、第 2 回目の面談を行ったところ、2 社から内定をもらっており、どちらにするかそろそろ決めなくてはいけないということだった。

### 【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Dさんは、明るく、笑顔が印象的な学生であった。初回の来談は昨年の 12 月だったが、その際「私は一人っ子なので地元に戻って働きたい」と話し、U ターン就職の進め方について教えてほしいとのことだった。保育専攻であるため、地元の保育園・幼稚園の情報提供をしようとしたところ、志望は保育園ではないということだった。

（保育専攻だけど、そちらは希望しないんですね。）

「はい、子どもが好きだったので保育を専攻したんですが、実習などを通じて、子どもとあまりうまくしゃべれない自分に気づいたんです。子どもって何言っているのかよくわからないですよ。同じ学部の友人が、実習での様子とかを楽しそうに話していたりすると、“あー、私は子どもが好きではないのかも”って思いました。」

（なるほど。ではどのような業種や職種がいいとか、希望は決まっていますか。）

「ワクワクするような、うーん…、イベント企画のような仕事がいいかなと、思っています。」

（イベント企画会社なら沢山ありそうですね。Dさんにあっているようにも思います。でも大学ではDさんの地元企業の募集は少ないんですよ。まずは自分で情報収集できますか。ネットの就活サイトと併せて、地元のお知り合いの方にも就職活動の状況を聞いてくださいね。）

「わかりました、頑張ります。」

Dさんは年明けから積極的に地元で就職活動をしている様子だった。その後 5 月に、再度来談した。早い時期に内定が決まった A 社で決めようと思っていたところ、B 社からも内定をもらいどちらを選ぶべきか困っている。6 月に入ると最後の保育実習もあるので早く決めたいということが話された。

(2社から内定が出るとは、すごいですね。)

「ありがとうございます。内定したA社はベンチャー企業ですが、内定をもらえて自信が持てました。それに最終面接でイラストが得意なことを話したところ『広告作成などクリエイティブなことができる人は歓迎するよ』と言われて嬉しかったです。先日イベントを見学させてもらったんですが、社員は皆さん若い方ばかりで気軽に話しかけてくれたし、テキパキと仕事をしていてカッコよかったです。勉強してきたこととは専門も違うけど、ここなら頑張れそう、と思いました。」

(では、A社で決める感じですかね。そして、保育関係には就職しないけど、ちゃんと全ての実習は参加するってことですね。それはいいと思います。)

「(少し沈黙) もうひとつ、内定をもらっているB社は地元の信用金庫なんですが、実はうちの祖父の紹介で受けた会社なんです。なんか、祖父は地元で結構、顔が効くみたいなんですよ。」

(そうでしたか、B社にお知り合いがいるのかな。)

「祖父はそのB社の上層部の方と仕事でもプライベートでも親しい間柄らしいです。先月実家に帰った時に、お爺ちゃんから、『うちの孫をよろしく頼むよ、とお願いしておいたから安心なさい』って言われて、どうしようって思っちゃいました。」

(ということは、お爺様は、A社の内定のこともご存知ないのですか。)

「はい…、B社を受けたときはA社からの返事をもらう前だったから、こんなことになるとは思わなくて。家族からは『イベント企画とかじゃなくてももう少ししっかりしたところに就職なさい』と言われていたし、A社の一次面接は沢山の人が来てたから、内定をもらえる自信がなかったんです。それに父も金融機関で働いているし、信用金庫もいいかもって思っちゃったんです。)

(でも、気持ちはA社に行きたいのかな。)

「よくわからなくなっています。B社はA社と比べると給与もいいし、地元の有力企業で安泰だって父も言ってました。でも祖父の縁故だと、もし辞めなくなったらどうしようとか…。」

(A社かB社か、いずれにしても自分で決めなくちゃですね。それぞれの会社から内定承諾書の提出も待ってもらってる感じですよ。お断りする方の企業は、返事が遅くなればなるほど、ご迷惑をおかけしてしまいますから、早く結論を出しましょう。)

「迷惑かけちゃいますよね。」

(社会に出るとそういうことって一杯あるから、経験と思って、ちゃんと行動してくださいね。)

家族には早く話をするように説得したが、やや不安そうだった。しかし本人もわかっているような素振りを見せたので、実習を頑張るように伝えて帰した。実習も既に終わっていると思うが、その後の報告はない。

### 【所感】

今後社会に出てDさんが納得いく仕事をするには、きちんと家族と話し合いをしてDさん自身で問題を解決するのが重要だと考え、アドバイスをしたつもりだが、その後、Dさんがどちらの会社に決めたのか、未だに報告がないことが気になっている。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

